



国名	マラウイ共和国 (Republic of Malawi)
面積	118,484平方Km (日本の約1/3)
人口	1756万人, 人口増加率2.9% (2018年: マラウイ国勢調査)
首都	リロングウェ (Lilongwe)
独立	1964年7月6日
言語	英語 (公用語), チェワ語 (国語)
政体	共和制
大統領	ラザルス・チャクウェラ

設立40周年記念フォーラム

2月25日(土) 東京・市ヶ谷のJICA地球ひろばをリアル会場に、オンラインと併催した記念フォーラム「日本とマラウイの未来を語る」を開催しました。ジョセフ・チクウェンバ駐日マラウイ大使館副大使の祝辞、岩切敏・前在マラウイ日本大使の帰朝報告、草苺康子当会理事による「マラウイ協力隊研究: 研究成果の報告と今後の展望」をはじめ、公募発表、ワークショップ「日本・マラウイ関係のレガシー継承と発展」など幅広い分野にわたり、密度の濃いフォーラムとなりました(参加者約百名/下記敬称略)。

新旧JICA 調整員による 示唆に富んだ 発表



新関 郁子



星野 恵理奈

稲端麻美子 「SDGsの 取組み」



稲端 麻美子

ワーク ショップ

在日マラウイ人らによる 将来を展望する発表



Chrispin Manda



Mun'de Vestergaard



Yankokho Fungatira

公募発表



佐々木 裕 「現地医療 事情報告」



主催・発表者・参加者によるフォーラム終了時の記念写真

日本マラウイ協会 入会ならびに年会費納入のお願い



当会は、両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的として1983年2月26日設立した任意団体です。会員が納入する会費で運営を行っています。ご入会、会費納入をお願いいたします。

Homepage www.japan-malawi.org
Email info@japan-malawi.org
Facebook facebook.com/japan.malawi
Twitter twitter.com/JpMalawi
YouTube Malawi Society of Japan

区分	入会金	年会費	備考
正会員	1,000円	3,000円	
賛助会員	0円	1,000円	郵便物送付無し
団体会員	3,000円	10,000円	公的・非営利団体
法人会員	10,000円	30,000円	協賛企業

支払方法	口座情報等
銀行振込	三菱UFJ銀行 東恵比寿支店(普)0255739 日本マラウイ協会事務局
郵便振替	ゆうちょ銀行 〇一九店(ゼロイチキユウ店) (当)0013125 日本マラウイ協会 ゆうちょ銀行送金: 口座番号00190-7-13125
PayPal	ホームページ「募集」ページ下部(Card払可)

※会費適用期間: 4月1日から翌年3月31日まで



日本マラウイ協会

日本マラウイ協会

機関紙 (年2回発行)

KWACHA

http://www.japan-malawi.org info@japan-malawi.org

当会設立40周年に寄せて

日本マラウイ協会会長 西岡 周一郎



3月、マラウイに上陸したサイクロン「フレディ」はマラウイ南部に近年にない甚大な被害をもたらしました。災害で亡くなられた方々に心からの哀悼の意を表するとともに、被災された多くの皆様にお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復興が進むようお祈りし、出来る支援を皆様と共に行って参りたいと思います。

日本マラウイ協会は、1983年2月に貝塚現顧問を中心にマラウイに派遣された青年海外協力隊員OVにより設立され、今年で40周年を迎えました。

この間マラウイへの熱い思いを持つ会員の献身的貢献はもとより、歴代のマラウイ大使館の皆様、在日マラウイ人の友人の皆様、外務省、JICA、JOCA等多く

のご支援を得て両国の相互理解を深め、友好協力に努めてまいりました。この場を借りて全ての関係者の皆様に厚く感謝、御礼申し上げます。

ここ数年はコロナ感染症やロシアのウクライナ侵攻が世界経済、人々の社会生活へ多大な影響を与えていますが、SDG'sの課題の多くを抱えるアフリカも食糧・エネルギー価格の高騰、債務・金融問題などの影響を受け、「世界の平和と安定」とは言い難い状況が続いて来ました。難しい世界情勢だからこそ、人々の交流・相互理解が益々重要で

です。長い歴史を持つ当協会の地道な活動は、継続こそ力なりを実証して来ました。40周年の節目に、改めて未来に繋がる活動の重要性を認識し、新たな発展へのスタートとすべく、今後ともご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

Congratulatory Address by Mr Joseph Chikwemba, Deputy Ambassador of Malawi Embassy



I am greatly honoured to represent His Excellency Ambassador Kwacha Chisiza, who is currently in Malawi for his annual leave. Allow me at the outset, to convey Ambassador Chisiza's warm greetings and best wishes for continued cooperation between our two institutions.

I am greatly honoured to represent His Excellency Ambassador Kwacha Chisiza, who is currently in Malawi for his annual leave. Allow me at the outset, to convey Ambassador Chisiza's warm greetings and best wishes for continued cooperation between our two institutions.

Let me take this opportunity to congratulate the Malawi Society of Japan for organizing this outstanding event. Let me further take the opportunity to express my profound joy that we have assembled again this year to commemorate the auspicious occasion of the 40th Anniversary of the Malawi Society of Japan. The Embassy of Malawi appreciates your existence and sincerely recognizes your contribution to mutual prosperity.

Over these years, we have witnessed the Malawi Society of Japan actively involved in supporting Malawi's development in various ways, including sourcing funds for some projects, and conducting research activities on the impact of Japan Overseas Volunteers Cooperation (JOVC) just to mention a few. More significantly, the Malawi Society of Japan has been an amazing carrier of the Malawian flag, by enhancing public

awareness about Malawi as the Warm Heart of Africa through many innovations, such as the Kwacha Magazine, MSJ News, Malawi on Air program, Japan-Malawi Online Forums, Nsima Party and many other initiatives.

The Embassy of Malawi is very proud to be associated with your organization. You are our very important development partner to us and as you are commemorating the 40th Anniversary, I congratulate you and I wish to avail myself of this opportunity to assure you of my desire to maintain and further strengthen the cordial and friendly relations. I genuinely look forward to more interactions and collaborations, both official and personal with the MSJ.

As the Embassy and representing the government and the people of Malawi, I would like to take the opportunity to thank you very much for sacrificing your precious time, resources and energy not for yourselves but for the people that you love most, the people of my country Malawi and this is a true reflection of the spirit of Japanese people, commitment, diligence, Excellence, friendship, and teamwork.

The Embassy of Malawi here in Tokyo and the government of Malawi remain extremely grateful to both the society and the Government of Japan for all the positive developmental initiatives and contributions which have led to the social and economic transformation of our country.

In conclusion, I wish to reaffirm the Embassies' commitment to continued cooperation with the Malawi Society of Japan and the Government and people of Japan for the mutual benefit of our two peoples.

特別寄稿 マラウイでの3年を振り返って

前在マラウイ日本国特命全権大使 岩切 敏氏



私は2019年12月にマラウイに着任し、2022年12月に日本に帰国しました。この間、コロナ禍もあり思うような活動もできませんでしたが、任期中に感じたことをご報告させていただきます。

ODAのレガシー

私は赴任してすぐに、ドーミトリーにある物故隊員の皆様の慰霊をさせていただき、また、帰国直前にもお別れをさせていただきました。こうした志半ばで亡くなられた方々の尊い意思によって、私たちの今があると思っています。

マラウイは世界第1位のJICA海外協力隊員派遣実績を有しています。現職の閣僚や国会議員はじめ多くの教え子がマラウイ国内で活躍しています。また、日本のODAにより、首都のカムズ国際空港をはじめ、エネルギーやインフラ関連での協力、教育、保健医療、農業等、マラウイの重要セクターへの協力がこれまで数多く展開されてきています。これらは、マラウイ国民の多くが知るところとなっており、テレビや新聞が国民一般にはあまり普及していないマラウイにおいては極めて希有に感じられるところです。私は、「(日本は)独立以来50年以上にわたりマラウイを助けてくれた友人」というスピーチのフレーズを多くの公式の場で耳にしてきました。更には、国連等での多くの支持要請に関しても、文書での確認については慣例として行っていませんが、結果として日本を強く支持してくれています。

これは、長い期間にわたりマラウイの開発や人材育成に日本が誠実に対応してきたODA事業の大きな成果であると考えられ、これからも、様々な形で関係構築を行っていくことが求められる所以であると考えます。

マラウイの今後について

マラウイは気候や人々が温和で、治安情勢についても比較的平穏です。しかしながら、コロナ禍による経済の困窮に加え、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、物価が急激に上昇を続けており、また、外貨不足が主たる要因と思われる石油(ガソリン、軽油等)不足に見舞われています。昨年11月末にIMFとの合意が図られ、外貨不足については短期的には息をつけた感がありますが、中長期的には依然として厳しい経済運営が求められていると思います。国民の現政権に対する不満は徐々にではありますが高まっており、治安情勢も肌で感じるほど悪化の一途を辿っています。今後、在留邦人の安全確保にはこれまで以上に十分留意していく必要がありますし、また、ポストコロナを睨んだ我が国からの適切な経済支援も併せて検討していく必要があると思います。

サイクロンフレディの猛威 マラウイ南部、モザンビークに大災害

死者1千名以上、50万人以上が避難、被災者200万人超

4/20マラウイ政府
発表情報

南インド洋に発生し史上最長寿命となったサイクロン「フレディ」が3月12日マラウイに上陸。未曾有の大災害を南部と東部16県にもたらしました。



洪水

陥没

高地にあり、通常は洪水被害に遭うことがないプランタイヤで土砂崩れが発生したことも、被害を大きくした要因でした。



仮設住宅建設



日本からの援助



亡くなった人の合同葬儀に参加するチャクウェラ大統領

義援金の振込先を駐日マラウイ大使館からお知らせいただきましたのでお知らせいたします。

マラウイ大使館 義援金口座

銀行名	三井住友銀行
支店名	五反田支店(653)
預金区分	当座
口座番号	2738800
口座名義	MALAWI EMBASSY

観測史上最大寿命

サイクロンの平均寿命は1週間ほどですが、これまでの記録を破って30日を超え、南半球の観測史上1位となりました。移動距離も1万1千キロを超えています。



寿命(誕生してから消滅するまでの日数)以外2点でも記録を残しています。

「ACE値」(サイクロンが存在している全期間中の強さを表す指標)が2016年のサイクロンを上回り南半球の観測史上、最強となりました。また、「急速強化」と呼ばれる、24時間で最大風速が15メートル以上増える急激な変化を、6度も経験し、世界新記録です。

第41回通常総会(5/13)のご案内

※日本マラウイ協会会員対象です

日時	2023年5月13日(土) 14:30~15:30
場所	会場とオンライン(QRコードまたはURL)
申込	https://msj2023sokai.peatix.com



マラウイを語る集い2023
(シマを食べる会)

開催予告 7/15(土)

2020年からコロナのため自粛してきた対面集会ならびに「シマを食べる会」を復活します。皆さまの積極的な参加をお待ちして理ます。